気仙沼の気になる人 特集

子どもたちと関われるコミュニティを作りたい

市では、地域住民による主体的なまちづくりを推進するため、さまざまな年代や分野に対応した、地域の担い手育成を行っています。今回はまちづくり実践塾「ぬま大学」の受講者へのインタビューを紹介します。

◎まちづくり実践塾「ぬま大学」とは…

「気仙沼で何かやってみたい」という若者が、気仙沼で実行するまちづくりプラン（マイプラン）を作り上げていく実践塾。約半年間の講義を通して、自分や地域について考え、多様な人とつながりながらマイプランを作成し、最終報告会で地域の人に向けて発表します。（修了生 103 人（1～8期））

川村（かわむら） 枝美花（きみか） さん

Profile／市内本吉出身、唐桑在住。ぬま大学第8期生。子育てシェアスペースOmusubiスタッフ。ぬま大学では、子どもたちと関われるお菓子作りのコミュニティをプランとして発表し、現在は親子向けのワークショップを行っている。

―ぬま大学に参加しようと思ったきっかけは

専門学校を卒業後、すぐに結婚・出産をしました。社会経験がない中で子育てをし、これから自分がどのような道に進んでいけば良いのか、何ができるのかと漠然と悩んでいました。

そんな中、知人のぬま大学のスタッフや受講生からぬま大学へのお誘いがありました。自分の考えをまとめるきっかけにもなると思い、参加することにしたのです。

―プランの内容、取り組んできたことは

プランを考える際に、自分の幼少期の記憶が鮮明に浮かびました。学校での居場所が少なかったり、両親が共働きで、寂しい思いをしながら過ごしていた自分にとって、地域にあるお菓子作りのクラブが好きな居場所になっていました。その経験から、自分の好きなお菓子作りを通じて子どもたちに関われるコミュニティづくりをプランとして考えることにしたのです。

そして、昨年の秋に市内の公民館、クッキングスタジオで、子どもや親子向けのお菓子作り教室を開催します。教室を子どもたちの好奇心や「やってみたい」という声が尊重されることで心が満たされたり、家や学校以外の大人と出会う場にしたいという思いがありました。参加したお母さんから「他のママとお話しできて楽しかった」と声をいただいたり、子どもたちが楽しむ姿を見ることができました。その後もレシピの内容や難易度を工夫しながら、開催しています。

▲ワークショップで子どもたちと触れ合っています

―活動の中での気づきや感じたこと

活動していく中で、子どもたちのために何かするのが好きと気づき、そのことを軸にしていきたいと思いました。

また、ぬま大学を受講したことで、自分自身に「何でやりたい？」「やってみてどうなった？」と問いかけられるようになり、物事を深く考える良い経験になりました。

―今後は

マイプランは自分の心や生活を豊かにするものだと思っています。自分自身の子育てや勉強と並行しながら、できる範囲で活動を継続していきます。

子ども向けのワークショップや子どもたちと関わるイベントに行きたいと思っていますので、ぜひ呼んでください。

そして、「気仙沼でずっとニコニコしている子どもたちのお姉ちゃん」でありたいです。

まちづくり実践塾「ぬま大学第9期 最終報告会」聴講者募集！

「ぬま大学第９期」の最終報告会の聴講者を募集します。気仙沼の若者 12 人が、５月からの約半年間、自分や地域について考え、多様な人とつながりながら作成してきたマイプランを発表します。参加費無料。託児あり（先着順）。

■日時／11 月 19 日（日）
第一部：午後１時～４時 30 分（プレゼンテーション）　第二部：午後４時 30 分～５時 45 分（表彰式、振り返り）

■場所／まち・ひと・しごと交流プラザ（PIER7）

■定員／80 人（先着順・定員になり次第締め切り）

■申込方法／11 月 17 日（金）正午までに申し込みフォーム（二次元コード）またはメールにて申し込み。
※メールで申し込みの場合は、お名前、所属、電話番号を記載してください。

申し込みフォーム

■問い合わせ・申し込み／主催：地域づくり推進課 ☎ 22-6600 内線 335、
企画・運営：合同会社 colere（コレル）☎ 25-7377 ✉ info@numa-ninaite.com